アクティオ

モノだけでなく、知恵も貸す 建機レンタルのフロントランナー

「建機レンタル」というビジネスを生み出し、建設機械は買うものではなく借りるもの——という常識を土木・建築業界に定着させたパイオニア企業がアクティオだ。レンタルにコンサルティング機能を加えた提案型サービスで、社会に貢献し続けている。

アクティオ
小沼直人代表取締役社長兼COO

鮮やかな赤に「AKTIO」のロゴが躍動する看板を一度は目にしたことがあるだろう。パワーショベルやクレーン、ブルドーザー……。ビル建設や道路工事などの現場に欠かせない建設機械を幅広く取りそろえ、ゼネコンや建設会社に貸し出す。今では当たり前になった建機レンタルというビジネスを1967年に生み出し、業界のリーダーとして革新を続ける企業がアクティオだ。同社の大きな特色が、レンタルにコンサルティングを掛け合わせた提案型営業「レンサルティング®」を実践していることだ。

「レンタルというと、かつては買うより安いことが最大の価値でしたが、われわれはモノだけでなく知恵も貸す。そして、必要なとき、必要な場所に、必要な機械をジャスト・イン・タイムで届けることで、時代のニーズに合致した付加価値を生み出しています」と小沼直人社長は話す。

人手不足に悩む現場を効率化し、安全な工事を支えるのはもちろん、顧客のDX（デジタルトランスフォーメーション）やICT（情報通信技術）活用を後押しし、適切なメンテナンスで機械や設備の寿命を延ばして環境負荷を減らす。全国455カ所の営業拠点と146カ所の工場・センターに200万台以上の建機を保有するネットワークを築き上げ、道路の補修から巨大な国家プロジェクトまで、幅広い現場に対応できる体制を整えている。

この機動力とネットワーク力は、災害時にも真価を発揮する。アクティオは、東日本大震災や熊本地震、西日本豪雨など、甚大な被害をもたらした数々の災害で、被災地に建機や資材をいち早く届け、インフラ復旧や被災者支援に取り組んできた。

「私自身、大阪勤務時代の1995年に阪神・淡路大震災を経験し、交通網が寸断される中、必死で建機や発電機を手配して復旧活動に取り組みました。私たちは大量の建機や資材を保有し、いつでも動かせるよう整備していますから、災害時でもスピーディーに動けます。以来、各地で災害が起きるたびに支援に駆け付けてノウハウを蓄積し、今では368もの自治体と災害協定を結ぶまでになりました（2023年9月末時点）」（小沼社長）

アクティオ・レッドの建設機械が、全国の建設工事や災害復興の現場で活躍中

家族のようなチームでやりがいを持って働ける

現在のアクティオはグループ会社も含めると9000人以上の従業員を抱える大組織だが、社員の誰もが「アットホームで家族的な社風」と口をそろえる。その背景を聞くと、「イメージだけでなく、本当に家族が多いんです」と小沼社長は笑う。親子で在籍する社員が15組いるのをはじめ、兄弟や夫婦で働き続けているケースも多いのだ。

社員やその家族が交流する社内行事も充実しており、例えば社員旅行は家族連れの参加もOK。千葉県木更津市の海岸を清掃する「ビーチクリーン活動」や、山梨県の「アクティオの森」の森林整備活動のような社会貢献活動にも多くの家族が参加して、和気あいあいとした雰囲気だ。

加えて小沼社長は「働き方の可能性の広さも、家族に入社を勧めたくなる理由の一つではないでしょうか」と話す。

「私たちの仕事はモノを貸すだけではありません。顧客の課題を解決するために、メーカーのような技術開発や商品企画もすれば、コンサルのようなソリューション提案もする。ルート営業もいれば整備のスペシャリストもいる。そして、技術進歩とともに取り組める領域はどんどん広がっています。レンサルティング®の未来には、個人の資質を生かしたキャリアを築く上でも無限の可能性が広がっているのがアクティオです」

自分らしい働き方を追求しよう

アクティオ
奥田福太郎
上席執行役員人事部長・総務部長

アクティオは国内外に900以上の拠点を持っています。働き方の選択肢が多く、自分らしいワーク・ライフ・バランスを実現しやすい環境だと思います。新卒社員の職種は、大きく分けると営業職、業務職（機械整備）、事務職、フロント職の4種類。事務職以外の新入社員には、小型移動式クレーンやフォークリフトなど19種類もの関連資格を取得できる研修を用意しており、さまざまな技能をしっかり身に付けることができます。入社時の配属希望は第3希望まで挙げてもらい、ほぼその範囲内で配属しています。それ以降も、年に1度の「自己申告制度」で、職種や勤務地の希望を申告できます。これまでも「若いうちに大都会で経験を積みたい」「パートナーの転勤に合わせて異動したい」「介護のために故郷に帰りたい」など、いろいろな声を聞き、希望をかなえてきました。また、海外赴任や、国家的な大型プロジェクトなどに自ら志願できる公募も随時実施していて、自分の意志でキャリアアップのチャンスをつかめます。

社風は非常にアットホームで、家族が参加できる行事が充実しています。特に人気があるのが5年ごとの「周年旅行」。海外を含む多くのコースから行き先を自由に選べ、家族も実費で参加できます。次回は2027年に実施予定で、多くの社員が楽しみにしています。

父の背中から学んだアクティオでの働きがい

アクティオ　エンジニアリング事業部
EG発電機千葉工場　業務職
小林充貴氏（2021年新卒入社）

父は技術部に所属しており、私は発電機専門の部署で機械整備を担当しています。仕事内容は異なりますが、親子共にアクティオの一員として働いています。入社のきっかけは、就職活動中にやりたいことが見つからず悩んでいたとき、父から勧められたことでした。父と同じ会社に入社することは考えてもいませんでしたが、大学で電気を専攻したのも父の影響だったことに気付き、「自分にぴったりの会社がこんなに身近にあった」と感じました。

父は全国を飛び回り、新機械の開発に携わったり、東日本大震災の際に被災地に駆け付ける姿を見て、「マルチに仕事をしているなぁ」「社会貢献しているなぁ」という印象は以前からありましたが、入社してから改めて素晴らしい会社だと実感しています。先輩社員は皆面倒見が良く、運動系や文化系の部活動も盛んで、公私共に充実した日々を過ごしています。

株式会社アクティオ	〒103-0027　東京都中央区日本橋3-12-2 朝日ビルヂング7階
TEL	03-6854-1411
	jinji@aktio.co.jp
	https://www.aktio.co.jp/
主な事業内容	建設機械レンタル、建設用機械器具等のレンタル・リース・販売およびこれらに付随する業務
創業/設立年	1967年1月10日
資本金	5億円（アクティオホールディングス100億円）
売上高	3238億8800万円（連結）※2022年12月期
従業員数	9487人（連結）※2022年12月31日現在
2023年度採用実績	123人

＊2023年11月までの情報をまとめたものです